

## ISO 21569:2005 追補 1:2013

# Foodstuffs – Methods of analysis for the detection of genetically modified organisms and derived products – Qualitative nucleic acid based methods

## 食品 – 遺伝子組換え体及び由来製品の検出のための分析法 – 核酸に基づく定性法

### 1. 規格の概要

抽出した DNA を PCR 法で増幅し、目的とする遺伝子の検出及び同定を行う定性分析法における PCR 法のデザイン、増幅遺伝子の検出、結果の解釈等が規定されており、附属書には具体的な分析法として、複数の品種を検出することができる遺伝子組換え植物のスクリーニング法等が収録されている。

### 2. 発行状況等

2000 年 7 月に新業務項目提案が承認され、2005 年 6 月に初版が発行された。

その後、2013 年 4 月に追補 1 が発行された。

### 3. 規格の構成（仮訳）

まえがき

序文

1 適用範囲

2 引用規格

3 用語及び定義

4 方法の原則

5 試薬

6 器具及び設備

7 手順

8 解釈

9 結果を表す式及び品質保証

10 試験報告

附属書 A（参考）ターゲット分類群特異的法

附属書 B（参考）スクリーニング法

附属書 C（参考）コンストラクト特異的法

附属書 D（参考）イベント特異的法

参考文献